

## 糖尿病治療の最前線

# 血糖値が高い人は 発熱に注意

骨の炎症による発熱で、血糖値が急上昇したYさんのケース



担当医 久保 明先生  
医学博士・  
糖尿病内分泌専門医  
東海大学医学部教授  
高輪メディカルクリニック院長

患者氏名	Y・N様	年齢	44歳	性別	女性	現病歴	糖尿病
------	------	----	-----	----	----	-----	-----

**ま** だ44歳とお若いYさんは、大変活発な方で、テニスがご趣味の患者さんです。しかし、血糖値が高めで、ヘモグロビンA1cが6.8%くらいある状態がずっと続いています。最近では、テニスを運動療法のひとつとしても実践されておられますが、つい先日プレー中に転倒し、鎖骨を骨折するケガを負ってしまいました。手術をして回復に向かわれたYさんでしたが、その後、原因不明の発熱を繰り返すようになりました。同時にそれまで150mg/dl以下だった血糖値が420mg/dlまで上がり、ヘモグロビンA1cも8%台に上昇。非常に悪い状態になってしまいました。発熱は体にとって大きなストレスになります。Yさんの場合、そのストレス反応から、血糖値が上がったと思われる。

普通は気管や胆のう、腎盂などに異常があると発熱を繰り返しやすいのですが、それも見当たりません。そこで、Yさんが骨折の手術をされた病院で再検査してもらったところ、骨折後の骨の炎症によって発熱が起きていることが判明しました。原因がわかったことで一件落着。Yさんは骨の炎症を治すために再び外科へ入院されました。炎症が完治すれば発熱も治まり、血糖値は元に戻ることでしょう。

血糖値は、さまざまな要因によって上昇します。まれではありますが、今回のYさんのように、骨折による炎症で発熱し、血糖値が急上昇することもあります。骨折すると運動量が減り、血糖値のコントロールはよけいに悪くなります。

転倒しやすい高齢の方などは、とくに気をつけていただきたいと思います。